

だれもが同じように情報を得られるよう  
 配慮することが法律で定められました。  
 人により、情報入手の方法はさまざまです。

気づきの  
ポイント

- 多様な人が参加できるように、印刷物以外の情報提供をすることも必要です。
- どのような方法による情報提供が必要か、本人に確認することが大切です。

本日はよろしく  
 お願いします。  
 自己紹介を始め  
 ます。私の名前

要約筆記

聴覚障害者の中には、文字により情報を得る人がいます。  
 話し言葉を、手書きやパソコン入力により、文字情報にしてスクリーンなどに映し出します。

要約筆記者の派遣について

練馬区意思疎通支援事業

検索

ヒアリンググループ  
 (磁気グループ)

聴覚障害者(難聴者)の聞こえを支援する設備です。一定のエリア内に音声磁場をつくることで、補聴器からの音が聞きとりやすいようにするしくみです。

拡大コピー

視覚障害者(弱視者など)の中には、文字を拡大した資料から、情報を得る人がいます。

その他

- 知的障害者や外国人など、漢字が苦手な人が参加する会議では、資料にルビをつけたり、わかりやすい表現にすることが必要です。
- 視覚障害者や知的障害者などには、要望を伺って事前に資料の説明や朗読をする方法もあります。
- 一時保育、エレベーターや多機能トイレなどのバリアフリー情報の事前提供も必要です。

